

北海道通信

平成21年 2月16日 【月曜日】

各企業の社会貢献

北土開発が氷灯夜に参加

かまくら作り等に協力

バックホーなど重機提供し



した＝写真＝。

氷灯夜は、同町観光協会が主催し、冬期での観光振興を図ることを目的に毎年開催している。会場となる

同町他目的広場では、数千個にも及ぶアイスキ

ヤンドルを設置し、ライトアップをするほか、雪の舞台上での結婚式の開催、各種出店を用意。町内外から多数訪れるイベントとなっている。

同社では「日頃からお世話になっている地域のため

に何か恩返しをしたい」との思いから検討していた。町から今回のイベントへの協力を求められ参加することになった。

十四日の開催に向けて会場全体の整備を行ったほか、重機を用いてかまくら作りにも貢献。完成したかまくらは、直径約十二メートル、高さ四メートルに及び、同イベント史上最大の規模となった。

山田社長は「今後も地域のために何かお手伝いできれば」と話し、「高齢化が進む中で、除雪が大変な負担になることから、そういった世帯や見通しの悪い十字路などの除雪も考えていきたい」と今後の地域貢献活動へ積極的な姿勢をみせている。

【帯広発】北土開発（芽室、山田朝常社長）は、地域貢献活動の一環として、十四日に芽室町で開催した冬のイベント「第十九回氷灯夜」に参加。バックホーなどの重機を提供し、会場整備やかまくら作りに貢献